

都築電気、責任ある AI 活用のための基本方針と行動指針を策定 ～AI を前提とした価値創出モデル「AI Native」への変革に向け、環境を整備～

都築電気株式会社（代表取締役社長：吉田 克之、本社：東京都港区、以下「当社」）は、AI を前提とした価値創出モデルへの転換を推進するため、責任ある AI 活用のポリシーとなる「AI 基本方針」、また行動指針となる「AI 5Actions」を策定しました。

当社は「人と AI の共創による、信頼できる価値創造」を目指し、AI の持つ可能性を信頼性高く、かつ最大限に発揮することで、お客様へのさらなる価値提供に取り組みます。

■ 背景

現在、企業活動における AI 活用は実験段階から実装・運用段階へと移行しています。様々な企業において AI の業務活用が急速に拡大するなか、倫理やガバナンス体制の整備は企業にとって喫緊の経営課題となっています。国内においては、総務省および経済産業省が「AI 事業者ガイドライン」を公表し、AI の開発者／提供者／利用者それぞれに求められる考え方や行動指針を示しています。

当社では現在、業務プロセス／ビジネスモデル／組織文化の全域において、AI を前提とした価値創出モデルである「AI Native」への変革を推進しています。加速する技術進化のスピードに対応しながら、信頼感を持ってお客様の変革に伴走するため、基本方針および行動指針を策定しました。

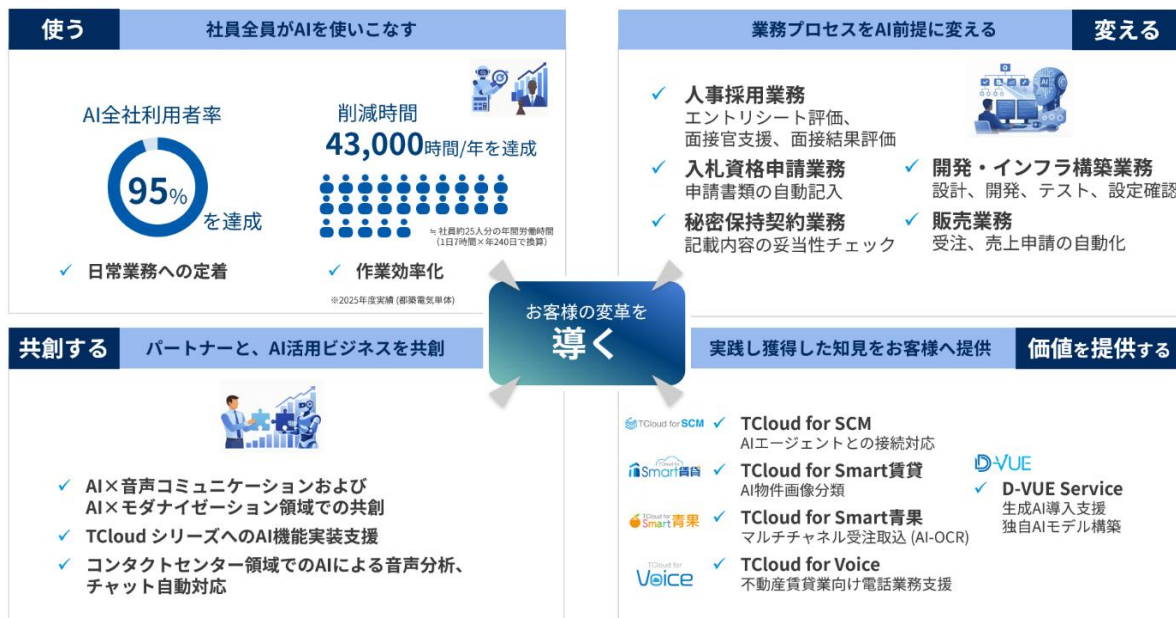
■ 内容

（１）AI 基本方針

「人と AI の共創による、信頼できる価値創造」を目指し、
ツヅキグループとステークホルダーが共有する、基本理念と AI 利活用の原則を定めた方針
全文は、以下の URL を参照ください
<https://www.tsuzuki.co.jp/ai-policy.html>

（２）行動指針「AI 5Actions」

AI Native へと変革し、お客様をナビゲートするために策定した、
「使う」「変える」「共創する」「価値を提供する」「導く」の 5 つの行動指針



なお、AI 5Actions の実践に向けた第一歩として、当社は全従業員に向けた「生成 AI パスポート*」取得の奨励を開始しています。受検費用は会社が全額負担し、AI に関する基礎知識や倫理・ガバナンスへの理解を全社的に高めることで、責任ある AI 活用を実践する組織づくりを進めています。

*生成 AI パスポートは、一般社団法人生成 AI 活用普及協会が実施する、生成 AI の安全な活用に必要なりテラシーを体系的に習得するための資格試験です。

■ 都築電気株式会社について

都築電気は、パーパス「人と知と技術で、可能性に満ちた“余白”を、ともに。」を掲げ、テクノロジーによりお客様の事業運営と変革、そして新たな挑戦を支える企業です。システムとネットワークの両領域において、企画提案・導入・運用まで一貫したサービス提供を行っています。

私たちは 1932 年の創業より、各社が持つ文化や背景を深く理解し、お客様の現場とともに未来を見据えた価値を創出することを強みとしてきました。今後もグループ一体となり、お客様の発展と豊かな社会の実現に貢献します。

企業サイト : <https://www.tsuzuki.co.jp/>

製品サイト : <https://tsuzuki.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

報道関係

都築電気株式会社 経営企画統括部 春名・上新・西田・熊谷

TEL : 050-3684-7780 E-mail : pr@tsuzuki.co.jp

* 記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

* プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後、予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。